



# 連合会だより

2024年7月

## 99号

217 団体  
79,268 世帯  
町田市原町田 4-9-8  
042-722-4262  
発行人 高橋 清人

町内会・自治会連合会総会で承認された役員を紹介します。



市連合会会長 高橋 清人

年初の能登半島地震でも、町内会自治会の役割が重要だと証明されました。加入率が減少傾向にあります。会員にとって魅力のある活動を増やして、減少傾向に歯止めを掛けましょう。また地震や洪水のときに助け合える関係を作っておく必要があります。また災害時の情報伝達力強化、運営の効率化や若い人の加入促進のためにもデジタル化が急がれます。魅力ある町内会自治会に向かって頑張りましょう。



町田第二地区会長  
会長代行 中 一登

「コロナ感染症」発生以来、人と人との繋がりが希薄になり、さらに IT 化は進み顔のみえない関係になってきた感じがしてきたのは私だけでしょうか？生活環境も大きく変わりつつあります。町内会・自治会としても変化に対応しなければならない課題もたくさんあります。出来ることから、取り組んでまいりたいと思いますので知恵を出し合いましょう。



南地区会長  
長谷川 義剛  
副会長 (会計担当)

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に分類移行され1年が経過し、対面での会議等徐々にコロナ前の活動が再開されて来ました。やはり、画面越しではなく、直接顔を見ながら「みんなのみなみ」の合言葉のもと、さらに安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指して頑張りましょう。



高ヶ坂・成瀬地区会長  
鈴木 敏高  
副会長 (庶務担当)

今年度より地区長に就任しました。よろしくお願ひします。当連合会における地域活性化事業として小学生から高齢者まで楽しめる恒例のソフトバレーボール大会が実施されます。今年度で32回目を迎え、更なる充実を図りたいと思ひます。地域の融和と活性化のため頑張り所存です。



町田第一地区会長  
平本 勝哉  
副会長 (総務担当)

町田第一地区は中心市街地の9町内会・自治会。JR・小田急線の町田駅のある繁華街、公民館や文学館・図書館・芹ヶ谷公園等があり、賑わいの商店街と好環境の住宅地です。また昼夜を問わず多くの来街者も訪れ、一度災害が起きれば大混乱が予想されます。地区の親睦・交流を図ると共に、防災対策の充実に努めます。



玉川学園・南大谷地区会長  
田代 敏行  
副会長 (広報担当)

玉川学園・南大谷地区連合会 (略称: 玉南連) の代表に就任いたしました田代と申します。現在町田市として抱えている小中学校の統廃合の問題、境川の洪水対策、そして地域交通の在り方、これらの課題に対し努力してまいります。



木曽地区会長  
金子 清勝  
副会長 (会計担当)

ITや生成AIとか人間離れの技術の進歩で生活環境が日増しに変化し、人と人との直接的な触れ合いが無くても事が済む時代。「顔色を伺う」「目を見て話す」「会釈する」が死後に至るのも遠くないと危惧しています。そんな事にならぬように「生付き合い」を意識した地域コミュニティのツールとしてポッチャを推進し、地域活性化を図って参ります。



忠生地区会長  
川畑 一隆  
副会長 (総務担当)

新たに忠生スポーツ広場が設置され、新たな賑わいが増えています。より一層、安全で住みやすい活気ある地域づくりを目指しています。バイオエネルギーセンターの安全運転・環境保全を厳しく見守り、周辺のまちづくり、災害への備え、デジタル社会への対応等に取り組んでいます。



鶴川地区会長  
仲村 清彦  
副会長 (庶務担当)

鶴川地区は面積22km<sup>2</sup>、人口10万人町内会連合会の内でも一番広く人口も多い土地です。34団体が加盟しております。道路などインフラ整備が遅れております。ハードウェアの整備の遅れた面をソフトウェアでカバーして仲良く楽しい住みやすい街を造って行きたいと思ひます。



小山地区会長  
安達 廣美  
副会長 (庶務担当)

令和5年5月コロナ禍も2類から5類へ移行され、これを機に街の中も一気に活性化され始めました。小山地区も各町内会・連合町内会による、各種イベントを4年ぶりに復活することになり、昼夜問わず準備に右往左往する毎日です。今年には新たな思い出が生まれることを目指し活動して参ります。



相原地区会長  
渡代 真知子  
副会長 (広報担当)

地区長3年目になります。相原地区は、都道と横浜線踏切のアンダーパス計画が進行する中、駅前の道路計画のために、商店の立ち退きが相次ぎスーパー、ファミレス、居酒屋が次々閉店し相原駅周辺が過疎化しています。相原地区の活性化に最大限尽力していく所存です。